

# 教員向けの会計教育セミナー開催

## 実社会と教室をつなぐ「会計」の可能性



### 基調講演 根拠ある合意形成へ

#### 次期改訂を見据えた 会計リテラシー教育を

玉川大学教育学部教育学科教授 樋口雅夫氏

基調講演では玉川大学 教授の樋口雅夫氏が「中 学校社会科における「会 計リテラシー」の取り扱 い」と題して登壇。現行 の学習指導要領における 会計教育の位置付けと次 期改訂を見据えたその意 義について語った。

樋口氏はまず、202 1年度から中学校で全面 実施されている現行の学 習指導要領について言及 した。次の改訂サイクル までの折り返し地点にあ る現在、「これまでの5 年間の実践をどのように 次の5年間に活かしてい くのか、考える時期にあ る」と指摘。その上で、 国立教育政策研究所によ る実施状況調査の結果を 示し、現在の生徒に見ら れる課題として「自分の



活用してほしい」と結んだ。Aが学校現場向けに提供 する教材の活用を推奨し つつ、会計情報は生徒に 対して遠い世界の話では なく、自分自身のキャリ アや生き方に関わるもの であると説明。「自らの 人生を舵取りする力を身 に付けるための教材」と して、社会科をはじめと する教科等横断的な探究 学習で会計リテラシーを 活用してほしいと結んだ。

### 「ラーメン店」開業 シミュレーションで 学ぶ会計

#### 目黒区立目黒南中学校 主任教諭 藤田琢治氏

目黒区立目黒南中学校 藤田琢治主任教諭は、 3年生の社会科公民的分 野「B 私たちと経済」の 市場の働きと経済の企 業一を学習する全7時間 の単元指導計画を紹介し た。

生徒たちが自ら「ラー メン店」の経営者となり、 シミュレーションを通じ て、生産や金融、企業の 経済活動における役割と 意思決定に左右されるか らリアルに体感する。 単元の最終段階では、 これらの体験を「適正な

責任、会計情 報の重要性を 学ぶユニーク な授業だ。 授業の中核 とするのは、 「金融」の役割を解説し た上で、投資家や銀行が 正しく判断するために、 企業による適正な会計情 報の提供が不可欠である と説いた。

体験を通じた学習は、 生徒の意識にも変化をも たらし、生徒が書いた ワークシートには、企業 への目的を「利益の追求」 だけに留めず、「社会課 題の解決」や「雇用の創 出」といった社会的責任 にまで視野を広げた記述 が見られたという。



### 「根拠ある」提案に 会計情報を活用

#### 熊本大学教育学部附属中学校 教諭 山本翔氏

熊本大学教育学部附 属中学校の山本翔教諭 は、「教育関係者にな りたい会計をどう 授業に取り入れるか」 をテーマに実践報告を した。3年生を対象と した社会科公民的分野 の視点は「経営者の 視点から判断できな いか」という問いを 見据え、山本氏は「会 計情報」を学ぶことで私 たちはより良く市場経済と つながることができるの でないか」と会計の授業 を提案した。

そこで、JICPAが 提供する教材などを用い て、企業による会計情報 の提供の必要性、決算書 の意味とその読み方など を学習した後、よの体験 的な学びを取り入れた。 「買い物をすると、多く の生徒は 責任、会計情 報の重要性を 学ぶユニーク な授業だ。 授業の中核 とするのは、 「金融」の役割を解説し た上で、投資家や銀行が 正しく判断するために、 企業による適正な会計情 報の提供が不可欠である と説いた。

ある生徒は振り返り、 理論へと結び付けていく。 「働くと」には、社会 の一員としての役割を果 たすという大切な意味が ある」と記述しており、 藤田氏は「今回の実践は キャリア教育にもつなが る手応えを感じた」と強 調する。

教科書や資料集の記述 を、体験を通して見直す ことで実感を伴った知識 となった。生徒たちは、 シミュレーションで「儲 かる・損する」を経験し たからこそ、適正な会計 情報の提供が、経済全体 を健全に保つために必要 だという理解に到達でき たようだ。

### リスクから会計の 意義を深く理解する

#### 広島大学附属中・高等学校 教諭 阿部哲久氏

広島大学附属中・高等 学校の阿部哲久教諭は、 中学3年生の公民的分野 で「パン屋さんの経営」 「金融・投資」を扱う2時 間構成の授業実践した。 JICPAが提供する教材 「会計情報の活用」の 班が「利益が出ていな い」という現実と直面 した。

第1時の「パン屋さん を作る」とは、生徒が グループごとに新商品を 開発・アピールし、その 後、自分の買いたいグル ープのパンに投票すると いったシミュレーション を行った。

実際の売上から損益計 算書を作成すると、多く の班が「利益が出ていな い」という現実と直面 した。

「たかさん売れたのに儲 かっていない」とシヨ ックを受ける姿があっ た。阿部哲久氏は「赤 字になった失敗は、 企業経営的な発想を提示 し、生徒の常識を揺さぶ った。 次に表示した不動産投 資の例では、「家賃収入 の利益を払っても得を する」ともある」とい う活用が投資判断には 重要なと伝えた。阿部 氏は短期売買はゼロサ ムゲームだが、経済成長 の長期投資はプラスサ ムであると説き、授業で 健全な投資家視点をもつ ことの意義を強調した。

期末試験で「会計の意 義」を問う記述問題を出 したところ、生徒の98% が「正確にお金の動きを 記録する意義」を記述 した。情報の開示や信頼性とい う社会的な基盤として の会計の役割を、生徒自 身が実感した実践とな った。

### 決算報告で知る 「利益を生む」難しさ

#### 吹田市立豊津中学校 教諭 阿部孝哉氏

吹田市立豊津中学校の 阿部孝哉教諭は、シミュ レーション教材を活用し た社会科公民的分野の授 業実践を発表。3年生を 対象に行った「おにぎり 専門店」の経営シミュレ ーションの授業について 報告した。

全7時間の単元構成で 実施。生徒たちに実感を 与えた。

授業では、生徒一人一 人が「高級志向か、手軽 さか」といった店舗のコ ンセプトを練り、メニュー 開発から価格設定、必 要な設備の購入、さらに はアルバイトの求人広告 作成までを行う。このシ ミュレーションを通して、 生徒たちは損益計算書、 貸借対照表を作成した。 生徒たちは、当初自分 たちが計画したおにぎり が「作ったものすべて売 った内容だ。 第1時の「パン屋さん を作る」とは、生徒が グループごとに新商品を 開発・アピールし、その 後、自分の買いたいグル ープのパンに投票すると いったシミュレーション を行った。

JICPAが提供する会計教育ツールは、HPよりご確認ください。是非、ご活用ください。

【中学校編】 【高等学校編】  
「会計情報の活用」  
授業支援パッケージ  
「会計情報の活用」  
教員のための  
授業実践ガイドブック

信頼の力を未来へ  
jicpa  
日本公認会計士協会

### 探究学習向け新教材紹介

#### 「会計」の視点で 高める実現可能性

愛知淑徳大学教育学部准教授・ 文科省教科調査官 加藤智氏

愛知淑徳大学准 教授で文部科学省 教科調査官の加藤 智氏は、「総合的 な学習（探究）の 時間に活用できる 教材紹介」と題し て、探究「会計」 の視点を導入する 意義と、2026 年3月末頃に公開予定の自 身が監修する新教材の全容 を語った。

加藤氏は冒頭、学校での 知識習得をスポーツの「練 習」、実社会での活用を「試 験」と例え、両者の間に大 きな隔りがあると指摘。 教室内の学びを社会で生 かすには「真正な学び（authentic learning）」の 場が必要だと述べ、その鍵 を握るのが総合的な学習 「探究」の時間であり、そ こにリアリティを吹き込む のが「会計」の役割だとい う。

一方、学校現場では、生 徒の探究活動に実現可能 性や持続可能性が欠如しやす いという課題がある。生徒 の発想は豊かだが、本当に 実現できるのか、一過性のイ ベントで終わらないか、と いう視点が抜け落ちてしま っている。ここに会計の視 点を取り入れることで、活 動に必要なコストや収益構 造が可視化され、生徒の提 案が「絵に描いた餅」から社 会に実装可能な企画へと進 化すると強調した。

会計を取り入れると、探 究のプロセスは質的に向上 する。「情報の収集・整理分 析の段階では、費用対効 果やリスク、継続性を多角 的に検証する目が養われる ため、'まとめ・表現'の段 階では、感覚的な主張では なく数値に裏付けられた根 拠に基づいた提案が可能に なり、説得力が各段に高まる という。

こうした学習を支援する ツールとして、JICPA は3月、教員向けに教材 「会計×探究」授業実践ゲ ートブックをWebで公 開する。探究活動にコスト や収益の視点を取り入れ、 生徒のアイデアを実現可能 な企画へと高めるヒントを 収録。会計に詳しくない教 員でも使いやすいよう会計 用語は必要最小限にとどめ、 単元計画や「地域活性化プ ロジェクト」等の実践事例 を紹介している。

監修者の加藤氏は「会計 を教えることが目的ではな く、探究をよりリアルにし するためのツール。先生方が 安心して「まず一回やっ てみる」ための入り口にして ほしい」と活用を呼びかけ た。

